



笹小だより

No. 1 1

平成30年2月28日
横浜市立笹野台小学校

心かがやく 姿を求めて

校長 倉岡 ナオミ

今年の冬はインフルエンザが猛威を奮い、学級閉鎖を余儀なくされました。また、降雪もあって、対応に追われるなど落ち着きませんでした。校庭の紅白の梅が可憐な花を咲かせ、春が近いことを教えてくれています。今年度もあと1か月となりました。

3月20日には107名の6年生が卒業します。私が着任した時には、まだ3年生で多少やんちゃで活発な、あどけない子供たちでした。今の成長は目をみはるばかりです。先日は東京見学に一緒に行きましたが、バスの中での友達とのやりとりや博物館でのグループ活動など、相手を思いやる微笑ましい姿がたくさん見られました。また、卒業に向けてのスマイルの活動では、各クラスが一生懸命考え、学校のために何かできないかと活動を始めています。改めて、保護者の皆様のこれまでのご苦勞に思いを馳せるとともに、職員一同、子供たちの成長に関わられたことを嬉しく思っております。

もちろん、他学年の子供たちも4月の頃の顔つきとは違って、それぞれに素晴らしい成長を見せてくれています。幼保の園児を迎えての給食交流で見せる、低学年のお兄さんお姉さんとしての姿、七輪体験で協力したり地域の方とふれあったりする3年生の姿、2分の1成人式に向けてそれぞれの成長を伝えようと頑張る4年生の姿、そして、委員会、クラブなどで最上級生になる意識を高めている5年生の姿……。どれも私にはまぶしく見えます。206日ほどの授業日数、その一日一日の積み重ねが、今の姿に現れています。楽しいことばかりでなく、いろいろなことがあったでしょう。でもそこから多くの学びを得て成長してきたのだと思います。あと16日です。次学年へのよいまとめをしてほしいと思います。

さて、これまで、子供たちの心かがやく姿を求めて教育活動を進めて参りました。保護者、地域の皆様から、学校評価アンケートをいただき、今年度の振り返りを進めているところです。まだまだ課題を感じる場所もありますが、全体的には、子供たちは落ち着き、充実した学校生活をおくれていると感じています。どんな心をもつことがよいのか、どういう姿が輝くということなのか、いろいろな場で子供たちに伝えてきました。一つの成果だと考えています。教職員もよい関係を作り、チームとして向上を目指しています。家庭と地域、学校がお互いを理解し、協力することで、子供たちにより支援ができたのだと思います。今年度いただきました御理解、御支援に心より感謝申し上げますとともに、次年度も変わらぬ御支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

さあ、春はすぐそこまできています。過ぎゆく日々を惜しみつつ、また、新たな希望を胸にして、一步一步、進んでいきたいと思っております。これからも、心かがやく姿を求めて。



笹野台小学校合い言葉

元気いっぱい

やさしさいっぱい

笑顔いっぱい

心かがやく笹小キッズ

笹野台小Web

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sasanodai/>

検索

横浜市立笹野台小学校